

体力向上推進事業（継続）

子どもが運動に親しむ機会を増やして運動習慣を定着させ、体育の授業改善を推進することで、子どもの体力向上をめざす。

堺スポーツチャレンジランキング

小学校において全市的に競う「堺スポーツチャレンジランキング」WEBサイトを活用し、「大縄を使用した運動」を推進する。

体育・保健体育指導力向上研修への教員派遣

体育・保健体育指導力向上研修に教員を派遣し、伝達講習会を開催して、小中学校の体育の授業改善を図る。

大学連携による体力向上研究校

体力向上研究校5校で、学校、家庭、大学等地域と連携した体力向上の取組を推進し、成果を全市に発信する。体力向上検討会議を開催し、専門家から学校の体力向上の取組について指導助言を受け、取組を改善、充実させる。

JFAアカデミー堺と連携

JFAアカデミー堺と連携したサッカー指導教室を開催し、子どもが運動に親しむ機会を作る。

<課題>

- ・体力向上のための運動習慣の確立
- ・不登校や子どもたちの体調不良

運動意欲の向上・授業改善

生活リズム向上支援

不登校改善・解消
体調不良の改善
体力向上

睡眠教育を軸とした家での7つのやくそく推進事業（継続）

みんなく（睡眠教育）を推進することで生活習慣を改善させるとともに、「生活リズム向上支援」のための取組を推進する。

「みんなくハンドブック」の配付

授業で使用する「みんなくハンドブック」を実施校に配付する。

みんなく実施校への支援

一人ひとりの睡眠状況を確認し、具体的支援を行うために、定期的な「睡眠朝食調査」を実施し、睡眠に課題を抱える児童生徒へ個別面談等を支援する。

「みんなく」の啓発

生活習慣の改善には保護者の理解と協力が必要であることから、リーフレット等の配付による保護者への啓発活動を行う。

教員研修の実施

みんなくを実施するための知識・技能を習得するため、継続的な教員研修を実施する

現状

【第2期 未来をつくる堺教育プラン】

- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、体力合計点の改善はみられるが、全国平均に達していない。
(全国を100とし場合 本市：小5 97.0 中2 93.0)
- 「早寝、早起き、朝ごはん」などの基本的な生活習慣は、学力や体力などと高い相関があるが、本市の基本的な生活習慣は全国の状況と比べると未だ課題がある。

効果

- 運動意欲の向上
- 体育の授業の充実
- 教員の体育の指導力の向上
- 基本的な生活習慣の改善
- 不登校児童生徒数の減少

目標

- 平成32年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、全国平均をめざす。
- 平成32年までに堺市義務教育調査における「学校に通うのが楽しい」と答えた児童生徒の割合を小学校91%、中学校86%をめざす。
(現状：小 84.8% 中 79.6%)